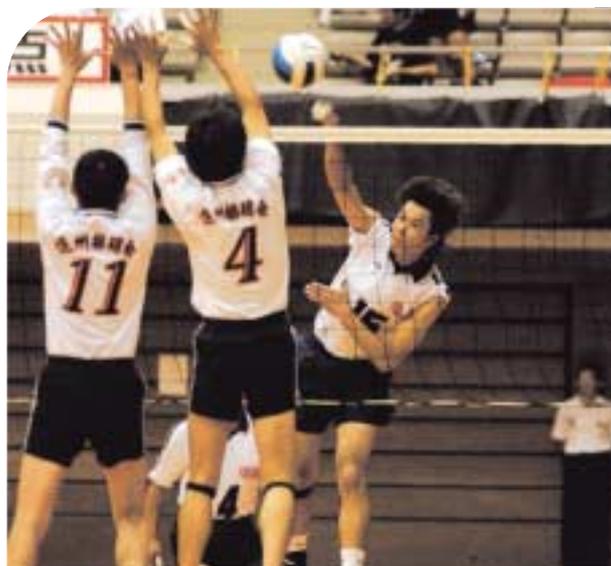


みんなでスポーツを!

▲題字(財)福島県体育協会会長 佐藤 宗佑久

SPORTS FUKUSHIMA

第12号
2004.11



日本スポーツマスターズ2004 福島大会

第59回国民体育大会夏季大会成績概要

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督等	選手	合計
夏季大会		平成16年9月10日(金)~9月14日(火)	埼玉県川口市他	武藤 敏治	6	17	22 (23)	109 (1)	148 (24)

1 派遣人数の()は競技団体派遣者数で外数

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会		21.0点	30点	51.0点	24位	10.0点	20点	30.0点	21位
夏季大会		208.0点	60点	268.0点	12位	132.0点	60点	192.0点	8位
合計		229.0点	90点	319.0点	16位	142.0点	80点	222.0点	9位

3 夏季大会入賞者一覧

水泳競技	競技得点41.0点 天皇杯18位・皇后杯22位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	30歳以上 50m背泳ぎ	2	7	三浦 俊樹	(財)県都市公園・緑化協会
	100m背泳ぎ	2	7	山口 雅文	中央大学2年
	飛板飛込	2	7	西川 友章	清陵情報高校教員
少年男子	高飛込	1	8	江川 克彦	清陵情報高校3年
	飛板飛込	5	4	江川 克彦	清陵情報高校3年
少年女子	B200m個人メドレー	1	8	加藤 和	桜の聖母学院中学校3年



競泳 少年女子 B200m個人メドレー 優勝 加藤選手
《写真提供：福島民友新聞社》



飛込 少年男子 高飛込 優勝 飛板飛込 第5位 江川選手
《写真提供：福島民友新聞社》

目次 CONTENTS

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1 日本スポーツマスターズ2004 福島大会 | 13 ニュースポーツ種目「パークゴルフ」
体育施設とスポーツ教室の紹介
「松川浦スポーツセンター」 |
| 2 第59回国民体育大会夏季大会成績概要 | 14 みんなでつくる総合型「いわしろふれあいスポーツクラブ」 |
| 4 アテネオリンピック・パラリンピック福島県出身選手紹介 | 15 スポーツと健康 |
| 6 寄稿 優秀指導者
競技団体紹介「スポーツチャンバラ」 | INFORMATION |
| 8 日本スポーツマスターズ2004 福島大会 | 16 福島県民スポーツ振興協会会員名簿
編集後記 |
| 10 生涯スポーツキャンペーン2004 | |
| 11 エンジョイスポーツセミナー | |
| 12 スポレク福井2004
生涯スポーツ実践者紹介「スポーツと私」 | |

表紙：《写真提供：福島民友新聞社》

ボート競技	競技得点41.0点 天皇杯11位・皇后杯4位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	舵手付フォア	8	5	佐藤 哲朗 磯貝 喜代 武藤 大介 中嶋 淳一 高橋 博一 滝田 伸之	(有)佐藤公房 富山国際大学3年 日本大学3年 湯川中学校教員 富山国際大学3年 (株)佐藤電設
成年女子	シングルスカル	8	1	木村 正子	日本大学工学部1年
少年女子	舵手付クォドルプル	2	35	滝田 真理 本島 美樹 島津 貴子 古川 宜子 坂井 視美 磯貝 のぞみ	湖南高校3年 湖南高校3年 湖南高校3年 湖南高校3年 西会津高校3年 湖南高校3年

カヌー競技	競技得点88.0点 天皇杯5位・皇后杯3位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	レーシング・カヤックシングル500m	2	7	佐藤 滋	県カヌー協会
	レーシング・カヤックシングル200m	4	5	佐藤 滋	県カヌー協会
成年女子	レーシング・カヤックシングル500m	4	5	高橋 宏美	県カヌー協会
	レーシング・カヤックシングル200m	5	4	高橋 宏美	県カヌー協会
	ワイルドウォーター・スプリント	6	3	高和 藍加	大教イトマンスイミング二本松
少年男子	レーシング・カヤックペア500m	6	9	丹治 康治 小泉 公道	二本松工業高校3年 安達高校2年
少年女子	レーシング・カヤックシングル500m	1	8	久野 綾香	安達高校2年
	レーシング・カヤックシングル200m	1	8	久野 綾香	安達高校2年
	レーシング・カヤックフォア500m	3	18	山口 智子 斎藤 綾子 菅野 美穂 佐藤 寛子 山口 智子 斎藤 綾子 菅野 美穂	安達高校3年 安達高校3年 安達高校2年 安達高校3年 安達高校3年 安達高校3年 安達高校2年
	レーシング・カヤックフォア200m	2	21	山口 智子 斎藤 綾子 菅野 美穂	安達高校3年 安達高校3年 安達高校2年

ボウリング競技	競技得点38.0点 天皇杯6位・皇后杯5位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	年齢別個人戦 ユースの部	4	5	伊藤 丈彦	(株)東北装美
	団体戦	5	12	伊藤 丈彦 角田 照一 五十嵐 正義 小平 栄	(株)東北装美 (株)タンガロイ (有)あやめ美容院 小平 建築
成年女子	年齢別個人戦 ユースの部	3	6	渡辺 未希	(株)ケーエス
少年女子	団体戦	4	15	石塚 香織 林 さおり	郡山女子大附属高校3年 平商業高校2年



カヌー 少年女子 レーシング カヤックシングル500m優勝、200m優勝
久野選手
《写真提供：福島民友新聞社》



ボート 少年女子 舵手付クォドルプル 2位 福島選抜
《写真提供：福島民友新聞社》

アテネオリンピック 福島県出身選手紹介 パラリンピック

大会に向けて取り組んでこられたこと
大会の様子や現地で感じられたこと
今後の競技生活について
県民へのメッセージ

伏見 俊昭 (28) 白河市在住

自転車 チームスプリント 2位
ケイリン 敗者復活戦敗退

毎日欠かさず練習してきた。
オリンピックの風が吹いていた。
本業の競輪の方で頂点を極めたい。
アテネへの声援ありがとうございました。



佐藤 光浩 (24) 会津若松市出身

陸上 1600mリレー 4位
400m 予選敗退

オリンピックの舞台で自分の力を出し切るためにはどうすればいいの、ということ常々考えていました。400mは特殊な種目であり、スピードと持久力の双方の能力が必要になっています。400mを効率よく走りきるためのペース配分、厳密に言うところの力の配分を確立することに重点を置いてトレーニングを行いました。私にとって見るもの、感じるものがすべて新鮮なものでした。世界のトップアスリートの素晴らしい走りを目のあたりにし、いつか自分もその領域に足を踏み入れたいと感じました。日本には体験することができない世界の速さ・強さを体験し、世界の舞台で戦うためにはこのような経験を数多くこなし、トップアスリートが集う海外のレースを転戦することの必要性を再認識しました。4年後の北京オリンピックを目指します。世界で戦える力を着実に身につけ、オリンピックを迎えられるようにと考えています。その過程の中で、翌年にはヘルシンキ世界選手権、2年後には母国開催の世界選手権が大阪であり、それらの大会で経験を積み上げることがオリンピックに繋がると思います。オリンピックに出場を決めてから、私は多くの方々に支えられていることを実感することができました。もう一度オリンピックの舞台に立てるように、また、メダルを取ることを最大の目標として頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしく願っています。

西内 洋行 (28) 原町市出身

トライアスロン 32位

1年前に行われたアテネワールドカップ大会に出場しコースを見下ろす。厳しいバイクコースを攻略するためにバイクの坂道を中心に練習した。強化合宿も延べ100日以上行った。

シドニー大会よりはリラックスして競技することができた。またオリンピックの地に戻ってこられたという嬉しい気持ちになった。北京を目指してまた頑張りたい。次はメダルを是非ねらいたい。県民の皆さんの応援で最後まで走り抜くことができました。今度の北京ではご期待に添えられるよう頑張ります。



増子 恵美 (33) 三春町在住

車いすバスケットボール 5位

大会へ向けて選手選考合宿から選手として決定された後も含めたこの1年半の間、とても激しく厳しいトレーニングを積んできました。さまざまなスキルについて、1分、24時間、1ヶ月、1年すべてにおいて、競技に関するあらゆる技術を上げるために綿密なトレーニング計画を練り、地元チームの協力を得ながら実践してきました。各スキルアップには、それぞれの段階的目標を定め、小さな達成の積み重ねを繰り返してきました。また、今大会に向けては、半年の間に3回の国内合宿、3回の海外遠征とハードなスケジュールのなか挑んだ大会でした。この間、職場の同僚をはじめ家族には大変負担をかけてしまいました。その分結果を出すためにそのとき持っている力を最大限発揮し、いつも感謝の気持ちを持ちながら、試合ごとにラストカウントをしていました。結果的にメダルには届きませんでしたが、次世代につなげる最低ラインの5位をキープできたことに今は満足しています。近年のパラリンピックは競技性が重視され、記録や結果が今まで以上に求められました。また、報道においても観客の優れているスポーツライターから勝敗の如何によっては酷評されることもあり、それが得ているだけに競技スポーツの観られる厳しさや日の丸の重みを実感しました。大会については、はるばる日本から応援に来てくれた知人や関係者、多くの地元の子供たちの応援、大会のために何年も前からリハーサルを重ねスムーズな運営を施してくれたスタッフの方々など暖かい歓迎や配慮にいつもありがたい気持ちでいっぱいでした。アテネ市内は車椅子をはじめ身体が不自由な人にとっては、決して良い環境とはいえませんが、大会を契機に古き時代の遺産と新しいものが共存調和する他国とは異なった進化を成し遂げるような感じがしました。これからは今までのように生活のすべてをかけて競技に打ち込み、自分を追い込むことができるかについては現在考えていません。現状維持で代表となっている自分よりも、身近な地域で地元の仲間と共に同じ目標や新たな可能性にチャレンジしていきたいという気持ちがとても強いです。新たな車椅子バスケットボール競技の芸術(アート)をこれからの選手たちと共に作っていきたくと思っています。不慮の事故で車椅子となり、私がこうして大舞台に出場

できたのも、幼いころからバスケットボールを教えてくださったみなさんのおかげです。有難う御座いました。これからは、あまりに小さい力ではありますが、知識を深めながら福島県の障害者スポーツをはじめ、必要とされる分野でお役に立てるように努力していきたいと思えます。

田村 正志 (34) 福島市在住

シッティングバレーボール 7位

初心に戻り、パス、レシーブ、アタック等の基本練習と、フットワークを中心に練習しました。2002年のエジプト世界大会よりも、人の多さに圧倒され、現地の人達やボランティアの人々のあたたかさを感じました。パラリンピックに出られたことを誇りに思いながら、初心に戻り一つ一つの基本的なプレーをもっと確実にこなせるようにしていきたい。そしてもっと多くの人にシッティングバレーボールを知ってもらえるようにがんばりたい。皆様の温かい応援やはげましの声によってアテネへ行くことができました。心から感謝しています。これからもシッティングバレーボールの発展のために、ご協力いただけますようお願いいたします。



八筈 美恵 (34) 棚倉町出身

車いすテニス
シングルス 1回戦敗退
ダブルス 4位



海外のトーナメントに出場し、多くの外国選手と試合をして経験を増やした。国際ランキング8位以内を目指した。

135カ国の人達が集まって開催されていたので人の多さに圧倒された。試合を見に来る現地の人達が思っていたよりも多かったのが嬉しかった。4年後を目指してがんばります。たくさんの人達に応援していただけてとても嬉しかったです。ありがとうございました。車椅子テニスは、車椅子同士はもちろん健常者のみなさんと一緒に楽しめるスポーツなので、機会があれば一緒に楽しみたいです。

佐久間 明夫 (52) 矢吹町出身

自転車LC1クラス 1000mタイムトライアル 26位
個人追い抜き 予選敗退
ロードタイムトライアル 13位
ロードレース 13位

4種目にエントリーしました。1kmTTをメイン種目とし、3月下旬より8月まで合計9回の強化合宿を伊豆修善寺のバンクで行いました。指導者として今回初めて日本プロフェッショナルサイクリスト協会の保坂コーチを依頼し6ヶ月間にわたり厳しい合宿をこなしてアテネ入りしました。その他通常の自主練習については毎日3、4時間の練習を行いました。国際大会や世界選手権などより競技者のレベルが非常に高く、上位入賞者についてはプロ化している。競技場の観客が多く、応援などにより場内の雰囲気は飲み込まれそうになる。競技終了後、同クラスで優勝した選手から私に「52歳で私たちと同等な走りの姿を見て感動した。私は今33歳で競技をしているが、あなたの年齢になったらおそらく世界の舞台では走れないだろう。それをあなたは成し遂げている。その姿に感動した。」という言葉と彼が着用していたジャージをプレゼントされました。そのことが今回アテネで一番感激し自転車競技をやっていた良かったと感じ光栄に思いました。トラック競技での日本記録を更新しましたが入賞は実現できませんでした。今までに監督・スタッフ・協会の方にお世話になり、入賞できなかったことが一番悔しく思います。今後アテネの経験を活かし、新たな目標を持って練習に励み、次回の国際大会などで入賞することが、今までお世話になった方への恩返しと思い練習に取り組んでいく所存です。52歳という年齢で自転車競技を行っていますが、一つの挑戦として年齢に対しての限界に挑んでいます。同じ年代の健常者・障害者に私の競技を知っていただき、50歳を越えてもやればできるんだということが、中高年の方への励みになればと思っています。



優秀指導者 寄稿

私と自転車競技との関わりは、白河高校入学と同時に自転車競技部の門を叩いた時から始まるが、振り返るとあの時から45年も経ってしまった。

高校生としての3年間は思う様な成績は上げられなかったが、自転車競技の魅力に取り付かれ、競技を続けたい一心で日本大学へ進学した。

希望に燃えての入学、初めての合宿所生活、当番制での食事作り、厳しい先輩、同級生、勉強、早朝練習、土、日曜は先輩に付いてロードワーク、一つ一つが初めての経験で新鮮だった。

夢中で過ごした1年生時代、少し余裕が出た2年生時代、東京オリンピック出場に燃え、猛練習を重ねた3年生時代、インカレ優勝を目指しての合宿中、落車で鎖骨を骨折し大会に出られなかった4年生時代、日大自転車部で培われた『なにくそ』精神が大学4年間を支えてくれた、なにくそ・なにくそ、の毎日だった。

卒業後は自分の力の限界に挑戦、競輪選手としての道を選んだ。プロとして厳しい戦いの日々の連続だったが、平成10年、自分では果す事が出来なかったオリンピックでのメダル獲得を心に秘め、オリンピック及び国際大会での勝利を目指し結成されたナショナルチームの監督を引き受け、31年の競輪選手生活に別れを告げた。

指導者として、ナショナルチームを世界で戦える選手の集団に引き上げる為、運動生理学に基づいたトレーニングを採用し、国内外で厳しい強化合宿を積み基礎筋力の強化を図ると共に、ワールドカップ、世界選手権、アジア大会等国際大会には積極的に参加して経験を積み重ね、世界で戦える選手の育成に邁進した。

監督として最初に挑んだシドニーオリンピックでは、チームスプリント5位が最高位だったが、従来の記録を0.722秒短縮した45秒264の日本新記録を樹立しアテネに向け確かな手応えを掴んだ。

この後の4年間、ナショナルチームの更なる強化を進め、特に代表選手決定後は前橋合宿、初めて体験した25日間のロード高地合宿、日本CSCでの最終合宿を通して培われた体力、闘志、気力、集中力、勝利への執念が本番で発揮され、従来の日本記録を1秒138短縮する44秒081の驚異的な記録が生まれ、夢にまで見たチームスプリントの銀メダル獲得が現実となった。

アテネ迄を振り返れば、ナショナルチームと共に『なにくそ・なにくそ』と走り続けた7年間の思いが実を結び、凄い事を簡単に遣って退けたチームスプリントメンバー、世界一のスターター長塚智広、粘りのアンカー井上昌巳、高校時代から手塩にかけ育てた愛弟子の伏見俊昭の三選手と出会えた事...

指導者としてこの様な幸運にめぐり逢えた事を幸せに思い、誇りに思っている。

アテネ・チームスプリント 銀メダルまでの道

自転車競技 (財)日本自転車競技連盟コーチ
班目 秀雄



島根インターハイを終えて

ウエイトリフティング競技 福島県立田村高等学校教諭
小野寺 浩竜



田村高校に勤務して7年。県大会でも優勝したことの無い、弱小チームが県大会、東北大会と優勝し全国高校総体では自分たちの力を100%出し切り、学校対抗戦で準優勝することができました。この7年を振り返れば部の発足から部員集め、部活動の意識づけの確立、基礎基本練習の毎日があり、勝負をするためには長い時間がかかりました。

今年の選手は1年生の時から特別恵まれた筋力や素質を持っていたわけではありません。ただ、一人ひとりが拳上する際に必要な要素の一つずつ持っていました。インターハイ69kg級スナッチ優勝の金子和央は筋肉の収縮を速く動かせる神経系の発達に恵まれているものがありました。いわゆるスピードのある選手です。ウエイトリフティング競技で成功するためにはこの要素がもっとも大切だと私は考えます。94kg級トータル準優勝の丹伊田裕真は自分の限界の奥を知ろうとする選手です。いわゆる自分の中にある潜在能力を自分の力で引っ張り出そうとすることができます。2年生の黒江雄治や丹伊田拓真はこの先輩に追いつこうとする意欲がある選手

です。練習場に来たら一番早くバーベルを握ります。

このように一つでも選手の良い部分があると二つ三つと良い部分が増えていき、全国で戦える選手になっていくことを学ばせて頂きました。また、その陰には県協会の月に一度の強化合宿や、田村高校全体の部活動の雰囲気も後押しをして頂いてこのような結果に結びついたと思います。今後ともお世話になった色々な方々への感謝を忘れることなく、ウエイトリフティング競技の一貫指導体制プログラムを確立し、毎年安定した競技力を発揮することが課題です。

指導者として

カヌー競技 福島県立安達高等学校教諭

小久保 英一知



大学卒業と同時に勤務した、埼玉県の高校にはカヌー部がありませんでした。学校側にカヌー部の設立を働きかけましたが、少子化にともなう生徒数の減と部活動数減の方針から認められず、カヌー競技とも卒業せざるを得ない状況になりました。地元で、目標であった教師にはなったものの、「指導者としての私には何が売り物なのか」を問いつづける毎日が続きました。やがて私は、「カヌーを教えたい」「楽しみを伝えたい」という燃えるような気持ちが心に沸々と湧きあがってくるのを感じ、福島県の教師を選択し、今日にいたっています。

さて、福島国体で史上最高得点での総合優勝から10年。各競技において素晴らしい選手を輩出している方々の本や、講演等を聞く機会をできるだけもうけ、学ぶようにしながら、現在も指導のスタイルを模索しています。勝つための条件は、思考、実践の反復、意識をもたせ(意識性)、心・技・体・戦術・知力に優れた実施者、環境、指導者の三位一体につきると思います。私の指導実践法は、個人日誌を作成し、自己管理(生活管理等)を徹底させ、栄養指導の導入など、個々にあった長期練習計画を父母によるサポート体制をいただきながら

らすめていくという方法を取っています。

また、私の指導理念は五つあります。一つ目に「素直な人間」であること。人の話を素直に聞けることが大切です。必ず純粋な選手は、アドバイスや技術、体力を身につけ、最後にしっかりと結果を出すものです。二つ目に、「ガッツ(負けん気)のある人間」。負けて悔しがらない選手は強くなるのに時間がかかります。三つ目として、「清楚な人間」であること。競技力=人間性(社会性)であることを自覚しており、自分自身を成長させたいと思うからです。四つ目として、「感動できる人間」であること。感動なきところに発展はないからです。五つ目として、「カヌーが恋人と言える人間」であること。自分自身が志す競技を好きになれない人間は、興味も意欲もわかないはずで

最後に、一人の指導者として、「意識は行動をつくり、行動は習慣をつくり、習慣は人をつくる」という言葉を自分にも選手にも言い続けています。「高校でカヌーをしようと思った」「高校ではじめてカヌーを続けてきてよかった」と思う選手が一人でも増えること、さらに、そのような選手を見て、カヌーを始めたいと思う子供が増えること、そしてカヌーを支援しようとする大人の方が増えることを願いながら、今後も生徒とともに歩んでいこうと思います。

競技団体紹介

スポーツチャンバラ

スポーツチャンバラとは、棒を持って相手を叩く、いわゆる「チャンバラごっこ」に、ルールと安全性を加えた武道です。ルールは簡単。顔にプラスチックの面を着け、長さ60センチの空気の入った剣を互いに持ち、相手の体に剣が勢よく当たれば勝ちとなります。始めたその日から試合ができます。女性なら護身術の基礎を学ぶことができます。また、普段なら叩けないような人にも思い切って叩けるため、ストレス解消に最適です。子どもから大人まで愛好者は国内15万人、海外5万人、全世界37カ国まで普及しています。県内には約300人の会員が活動しています。さあ、スポチャンでジャパニーズ「サムライ」になりませんか？

連絡先 福島県スポーツチャンバラ協会

事務局 伊達郡伊達町長岡7 024-583-5736





日本スポーツマスターズ2004 福島大会

全国から選手・役員等併せて約10,000人が集った日本スポーツマスターズ2004 福島大会。去る9月22日の開会式(前夜祭)を皮切りに26日までの5日間、県内6市5町1村の23会場において華々しく開催されました。

競技志向が高い概ね35才以上のアスリートが、サッカーやバレーボールなど計12競技で熱戦を繰り広げ、熱気あふれんばかりの盛り上がりを見せました。

本県選手も全種目に参加し、ボウリング男子の優勝をはじめ、各種目で活躍がありました。また大会を通じ、スポーツボランティアの方々の積極的な活動も至る所で見られ、大会成功に一役かっただきました。今後も引き続きスポーツ活動・イベント等での活躍を期待したいところです。

大成功に終わった日本スポーツマスターズ2004 福島大会。大会の開催にあたり、諸準備から会期中の運営まで尽力していただいた本県各競技団体の方々並びに開催市町村関係各位の御協力に事務局一同大変感謝しております。

来年度は富山県で開催されますが、今大会同様、本県選手団の活躍を期待しております。

日本スポーツマスターズ2004 福島大会 本県選手団参加人数

競技名	参加人数(チーム数)	競技名	参加人数(チーム数)	競技名	参加人数(チーム数)
水泳	50名	自転車競技	13名	綱引	66名(男女各3チーム)
サッカー	20名(男子1チーム)	ソフトボール	38名(男女各1チーム)	ゴルフ	6名
テニス	24名	バドミントン	32名(男女各2チーム)		
バレーボール	65名(男女各2チーム)	空手道	8名	本県選手団	計394名
バスケットボール	60名(男女各2チーム)	ボウリング	12名		

上位入賞

水泳

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	選手氏名	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	選手氏名	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	選手氏名
男子100M自由形1部(35-39歳)	1位	中澤 謙		女子200Mメドレー(45-54歳)	1位	福島県	堀内利子 / 小野弘美 / 滋野純子 / 尾形裕子	女子100M自由形4部(50-54歳)	3位	滋野 圭子	
男子100M自由形4部(50-54歳)	1位	中村 進一		男子200M個人メドレー5部(55-59歳)	2位	堀川 章仁		男子100M平泳ぎ1部(35-39歳)	3位	藤田 理	
女子100M自由形4部(50-54歳)	1位	滋野 純子		男子100M自由形6部(60-64歳)	2位	黒木 節彦		女子100M平泳ぎ2部(40-44歳)	3位	古澤久美子	
男子100M平泳ぎ6部(60-64歳)	1位	佐藤 碩彦		男子100M自由形4部(50-54歳)	2位	人首美智子		男子100M背泳ぎ1部(35-39歳)	3位	名木 敬一	
女子100Mバタフライ5部(55-59歳)	1位	新谷 紀子		女子100M自由形5部(55-59歳)	2位	大橋夫美子		女子100M背泳ぎ3部(45-49歳)	3位	内海 佳子	
女子100M背泳ぎ5部(55-59歳)	1位	荒 順子		男子200Mリレー(55-64歳)	2位	福島県	木内康博 / 佐野 肇 / 赤間英夫 / 黒木節彦	男子200Mリレー(35-44歳)	3位	福島県	荻野登雄 / 櫻橋辰司 / 名木敬一 / 中澤 謙
女子200Mリレー(45-54歳)	1位	福島県	滋野純子 / 堀内利子 / 人首美智子 / 尾形裕子	女子50M平泳ぎ1部(35-39歳)	2位	名木 陽子		女子50M平泳ぎ1部(35-39歳)	3位	名木 陽子	
女子50M平泳ぎ4部(50-54歳)	1位	滋野 圭子		男子50M平泳ぎ6部(60-64歳)	2位	佐藤 碩彦		男子50M平泳ぎ4部(50-54歳)	3位	和田 耕治	
女子50M平泳ぎ5部(55-59歳)	1位	荒 順子		女子50M自由形4部(50-54歳)	2位	人首美智子		女子50Mバタフライ5部(55-59歳)	3位	新谷 紀子	
男子50M平泳ぎ1部(35-39歳)	1位	中澤 謙		女子100M平泳ぎ4部(50-54歳)	2位	西山 政代		男子50Mバタフライ4部(50-54歳)	3位	鈴木 晴彦	
女子50Mバタフライ4部(50-54歳)	1位	滋野 純子		男子100M平泳ぎ4部(50-54歳)	2位	和田 耕治		男子50M平泳ぎ1部(35-39歳)	3位	藤田 理	
女子50M平泳ぎ3部(45-49歳)	1位	小野 弘美		男子200Mメドレー(55-64歳)	2位	福島県	木内康博 / 佐藤碩彦 / 黒木節彦 / 赤間英夫	女子50M自由形4部(50-54歳)	3位	滋野 圭子	
女子50M自由形4部(50-54歳)	1位	滋野 純子		男子100M自由形1部(35-39歳)	3位	荻野 登雄		男子50M自由形6部(60-64歳)	3位	木内 康博	
男子50M自由形1部(35-39歳)	1位	中澤 謙		男子100M自由形6部(60-64歳)	3位	木内 康博		男子200Mメドレー(35-44歳)	3位	福島県	櫻橋辰司 / 藤田 理 / 中澤 謙 / 荻野登雄
男子50M自由形4部(50-54歳)	1位	中村 進一		女子100M自由形3部(45-49歳)	3位	尾形 裕子		男子200Mメドレー(45-54歳)	3位	福島県	和田耕治 / 齋藤孝裕 / 鈴木晴彦 / 中村進一

テニス

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)
男子ダブルス	3位	室井 照平 / 野沢 金男	女子ダブルス	2位	田母神みほ子 / 上遠野和恵

ボウリング

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	選手氏名
男子4人チーム	1位	福島 A	鈴木吉徳 / 菅野 敦 / 伊藤芳夫 / 堀内

自転車競技

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)
男子個人3km追抜1部	2位	齋藤 徹	男子個人1kmタイムトライアル6部	2位	暁 喜久次	男子16kmポイント	2位	佐藤 康男	男子16kmポイント	3位	川田 正博

空手道

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)
女子組手2部	2位	渋谷 道子	女子形1部	3位	五十嵐由美子

ゴルフ

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	選手氏名
女子個人	2位	高木美智子	

綱引

種別・種目	成績	個人選手氏名 団体名(チーム名)	監督氏名	団体選手氏名
綱引女子	1位	UFOマスターズ	佐久間晃一	二瓶甚一(トレーナー) 斎野純子 遠藤やす子 佐藤サイ子 安部里子 高橋優子 菅野恵美子 吉田文子 齋藤世津子 齋藤ミサ子 鈴木加奈子
綱引女子	2位	PEACE ²	山田由美子	庄司修子 松本紀子 永橋澄江 安部光子 泉田和久代 秋元久美子 鈴木啓子 清川恵美 田代陽子 横山孝子

サッカー

チーム名	成績	監督氏名	団体選手氏名
福島レジェンド	3位	木村 智良	三瓶勝義 松本栄一 小林智志 川原敏弘 川原敏弘 佳吉哲也 陣弘 橋本好章 橋本正光 小池清志 大和田正恵 原竹 博 舟野英雄 齋藤 勝 齋藤智也 望月清志 大金浩美 北郷光宏 中島浩志

大会の様子



開会式:高円宮妃殿下(中央)・佐藤知事(中央右)とシンボルメンバーの面々



男子ソフトボール



女子バスケットボール



男子バレーボール



自転車競技

スポーツ教室

<9教室実施>



バスケットボール(岡山恭崇さん)



バレーボール(大林素子さん)



サッカー(ラムス瑞博さん)

スポーツボランティアの声



大活躍のボランティア

数日間の活動でしたが心を込めて選手達が安心・安全で楽しいプレーができるよう仲間と共に努め、福島県の良い思い出がお土産に残るように環境づくりのコーディネートをしました。

日本スポーツマスターズ2004 福島大会は、始まったら「あっ」という間に終わってしまいましたがスポーツボランティアでの充実感が残りました。

ボランティア活動は、いつでも、どこでも、誰でもが気づいたときに心一つで様々な形でできるもの…。これからも心の感動を贈りたい。

スポーツボランティアコーディネーター 榎木英一氏

フォトコンテスト結果発表

日本スポーツマスターズ2004 福島大会の開催に伴い、県民の方々にも様々な形で参加していただこうと、大会期間中の作品(写真)を募集いたしました。各受賞作品をご覧ください。

【最優秀賞：1名】



「ファウルボールで体当たり」
伊藤松男 様(郡山市在住)

【優秀賞：2名】



「私達審判部」
國分昭雄 様(郡山市在住)



「ちから」
高田 毅 様(原町市在住)

【入賞：2名】

「得点で喜ぶ」
「いざ本番」

佐々木俊昭 様(福島市在住)
佐藤 秀一 様(郡山市在住)

【佳作：3名】

「お国自慢(栄養満点)」
「頑張り、豆選手」
「ザ・ジャッジマン」

湯田スミコ 様(下郷町在住)
西山 栄 様(富岡町在住)
渡辺 勝重 様(富岡町在住)

～来年は富山で会いましょう～

生涯スポーツキャンペーン2004

ニュースポーツ体験教室・体験イベント

今年も「一足の運動ぐつから始めよう。」のスローガンのもとに、一人でも多くの皆さんがスポーツに親しんでいただけるように生涯スポーツキャンペーン事業を展開しておりますが、そのメインイベントである「ニュースポーツ体験教室・体験イベント」を去る8月8日(日)、会津若松市の会津総合運動公園で開催いたしました。

生涯にわたってスポーツに親しむという点では、いわゆる「ニュースポーツ」系種目が人気となっております。今年は全10種目のニュースポーツ体験教室に加え、体験イベントとして「ウォーキング大会」とご家族連れで遊べる「スポーツ体験コーナー」を実施しました。

気温30度を超す猛暑にもかかわらず1,611名の方々にお越しいただき、体験していただいたことにスタッフ一同大変感謝しております。今後もこのような場の提供を積極的にしていきたいと思っておりますので、これを機に皆さんのスポーツ習慣が定着することを期待しております。

スポーツチャンバラ



グラウンド・ゴルフ



バウンドテニス



3B体操



ニュースポーツ体験教室の様子

パラグライダー



スポーツ吹矢



ターゲット・バードゴルフ



ディスクゴルフ



体験イベントの様子

ウォーキング大会



スポーツ体験コーナー



「エンジョイ・スポーツセミナー」から

本年度最初のスポーツ指導者研修会は、「エンジョイ・スポーツセミナー」を7月18日、郡山市の日本大学工学部で開催しました。指導者の資質に欠かせない3つのテーマについて、その道の権威者から講演を聞きました。今回は「ドーピングの問題」を取り上げて、そのおもな内容を抜粋しました。



(財)日本体育協会アンチドーピング部会
丸紅健康開発センター・医学博士
山澤文裕 先生

『国体におけるドーピング活動』

アンチドーピングについての共通理解をもつこと

トップレベル競技者だけの問題ではない、スポーツに関わるすべての人が認識しなければならないことである。指導者、医師、トレーナー、薬剤師、家族など、違法ドラッグ・大麻・覚せい剤汚染問題との関連があることを認識したい。

アンチドーピングの意義

(1)スポーツに参加する人々の肉体的・精神的健康を守る。(2)スポーツ倫理・フェアプレーの価値を維持する。(3)スポーツの共通性・統一性を守る。(4)いかなるレベルにせよ、スポーツに参加する人々の権利を保護する。

国体でドーピング・コントロール導入の背景

国体におけるスピードスケート選手の突然死の背景がある。国体選手に対するアンケート調査の結果を重視。(注)平成2年、回答者3200名中、33名が利尿剤使用。平成8年、国体でドーピング検査の必要性をたざしたら、回答者の18%が必要と答えた。ドーピングをしている選手がいるからという理由。

国体でドーピング・コントロール導入の意義

(1)わが国最大の総合体育大会である。(2)国際基準として大会の価値を高める。(3)アンチドーピング教育は若いほど効果がある。(4)競技団体に対する側面支援(啓発、支援)。(5)地方体協のアンチドーピング活動を活性化させる。(6)スポーツクターの活性化、スポーツへの関与の増大。(7)国民の薬物乱用の予防と競技者の健康管理の重要性を再認識する。(8)世界アンチドーピング機構常任理事国としての使命。WADC(世界アンチドーピング規程):ドーピングの定義

第2条アンチドーピング規則違反

(1)競技者の生体からの検体に、禁止物質あるいは、その代謝物質またはマーカーが存在すること。(2)禁止物質・禁止方法を使用すること、または使用を企てること。(3)関連のアンチドーピング規則で定められた形で通知を受けた後に、検体採取を受けない、もしくは正当な理由なく検体採取を拒否すること。またはその他の手段で検体採取を回避すること。(4)競技者が競技外検査を受ける場合に関連する義務に違反すること。(5)ドーピング・コントロールの一部を改ざんする。または改ざんを企てること。(6)禁止物質および禁止方法を所持すること。(7)禁止物質および禁止方法の不法取引を実行すること。(8)競技者に対して禁止物質および禁止方法を投与・使用すること。アンチドーピング規則違反を伴う形で支援、助長、援助、教唆、隠ぺいなどの共犯関係があること。またはこれらを企てる行為があること。

競技会検査で禁止される物質と方法、資格剥奪期間について(内容が多岐にわたるため省略)

医師、トレーナー、指導者のアンチドーピングの実践

(1)医師、トレーナー、指導者、薬剤師も関係者。(2)医師は自信のない薬を処方しない、渡さない、飲ませない。アンチドーピングラインで確認。(3)選手、指導者は薬剤に関して説明を受ける。(4)医師は禁止物質使用にあたって、それ以外の物質がないかを確認する。(5)禁止物質を使用しなければならない状況ならば、使う前にTUE申請を行う。(6)禁止物質を使わなければならない医学的状況ならば、競技をさせず治療に専念させることが基本である。(7)禁止物質使用許可を受けたら、その承認書をたえず持参すること。(8)たとえ病気療養の診断書が提出されても、TUE許可を受けていない禁止物質が検出されたら陽性となる。(9)禁止物質処方でも医師も処分を受ける。(10)指導者、トレーナーなどが禁止物質を勧めることはドーピング行為である。(11)競技によって、世界記録、アジア記録の際にドーピング検査が必要である(ジュニアを含む)。(12)ドーピングはNOの教育と啓発が大切である。(13)トップ競技者だけでなく、すべての競技者が対象であることを認識すべきである。



講演を熱心に聞くセミナー生

スポレク福井2004



スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため全国的な規模での活動の場を提供することを目的とした全国スポーツ・レクリエーション祭。今年は10月2日(土)～5日(火)までの4日間、福井県で開催されました。

本県からも選手団170名が計18種目に参加し、試合をとおして他県選手とのスポーツ交流を図るとともに、皆さん試合(ゲーム)をする喜びや楽しみを感じながらプレーしていました。

参加種目

グラウンド・ゴルフ	年齢別ソフトテニス
ゲートボール	バウンドテニス
壮年サッカー	年齢別バドミントン
ソフトバレーボール	壮年ボウリング
女子ソフトボール	マスターズ陸上競技
ラージボール卓球	インディアカ
ターゲット・バードゴルフ	エアロビック
男女混合綱引	フォークダンス
年齢別テニス	トランポリン



総合開会式



エアロビック



バウンドテニス



ソフトボール



グラウンド・ゴルフ



ボウリング

生涯スポーツ実践者の紹介

スポーツと私

日本スポーツ吹矢協会
福井県総支部長 國分 強



平成11年7月、福井県内に初めてのスポーツ吹矢を導入し、会津河東支部として当時5名の会員で発足してから早いもので5年が経過しました。

スポーツ吹矢は、大変シンプルなスポーツとして最近、新聞、テレビ、雑誌等マスコミ関係に取り上げられ大変話題性も高く、注目を浴びているニューススポーツです。

スポーツ吹矢について、簡単にご紹介させていただきます。スポーツ吹矢をするには、器具として、1、的受け 2、筒 3、矢の3点セットが必要です。8m先の的を目標けて、筒に矢を挿入して3分以内に5本の矢を的に向けて吹きます。的は弓道などと同じように円形になっており、中心の円から7点、5点、3点の得点配置になっており、競技では、高得点の人が優勝になります。(3分以内で5本の矢を吹きこれを4ラウンド計20本吹いて一番高得点をあげた人が優勝ということです。)



吹矢の特徴は、矢を吹く場合に腹式呼吸で吹くことです。これを吹矢の5つの基本動作で実施するのですが、この腹式呼吸がスポーツ吹矢の生命です。腹式呼吸は、他のスポーツでも取り入れられておりますが、スポーツ吹矢をすることで、自然と腹式呼吸が身につく健康増進につながっております。

吹矢をして、腰痛が軽減した、便秘が解消した等各地から多くの声を耳にしています。また、日頃の練習で矢を吹いて一番点の高い7点の中心(ピンポイント)に入った瞬間は、何とも言えない爽快感を体験することができます。矢がピンポイントに命中した瞬間、心の中がすっきりし嬉しさがこみ上げてきます。いわゆる爽快感を感じる一瞬です。吹矢をしている者にとってこの瞬間を体験したくて「継続している会員が意外に多い」のが実情です。

現在、福井県内には、9つの支部があり会員約200名がおります。全国には、110の支部がありますが、福井県は、全国でも支部の多い県としてまた、全国唯一の総支部のある県として注目されております。

私自身、今年の8月に協会本部から福井県総支部長の拝命を受けました。益々多忙を極めることになりましたが、これを機に、健康スポーツとして老若男女を問わず取り組めるスポーツ吹矢をもっともっと県内に広めて参りたいと考えております。



ニュースポーツ種目の紹介

「パークゴルフ」

福島県パークゴルフ協会連合会
事務局長 吉田 実

パークゴルフは昭和58年(1983年)、北海道幕別町の公園で誕生したまだ22才の若いスポーツで、クラブ一本とボール一個あれば誰でも手軽に、気楽にできるスポーツです。

三世交代のスポーツ、コミュニティスポーツとして人気があり、北海道中心から全国各地、遠く沖縄の地まで愛好者が急増し、その数百万人とも言われています。

芝生の上で太陽の光をいっぱい受けながらボールを打ち、打数を競い合いながら楽しく遊べる健康的なスポーツであるパークゴルフは、親子、夫婦、おじいちゃん、おばあちゃん、お孫さんなど世代をこえて一緒



にプレーを楽しむことができ、家庭のコミュニケーションづくりはもちろん、町内会(自治会)や職場、そして町の区域を取り払い広くは国際的なコミュニティスポーツにすることが大きな目的です。

福島県内には現在10の協会(会津1、中通り2、浜通り7)があり、それらをまとめて福島県パークゴルフ協会連合会を設立しております。協会の数は約2,000人くらいになっていますが愛好者となると5,000人を超えていると思われます。また東北六県の連合会をまとめて東北パークゴルフ連盟を設立し、北海道に本部のある国際パークゴルフ協会の傘下に属しています。

パークゴルフ場は県内に現在8ヶ所(公認コース2を含む)ありますが、どこのゴルフ場も毎日多くの愛好者で賑わいを見せております。皆さんも是非一度、経験、挑戦してみてください。



問い合わせ先

福島県パークゴルフ協会連合会事務局長
吉田 実
TEL/FAX 0244 - 36 - 3189

体育施設とスポーツ教室の紹介

県立自然公園を眺めながらスポーツを楽しめる

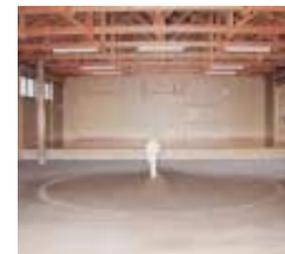
松川浦スポーツセンター

相馬市の松川浦スポーツセンターは、日本百景に選ばれた松川浦を臨みながらスポーツを楽しめる施設です。ここには、県内で最初の公認パークゴルフコースとなったパークゴルフ場が3コース(27ホール)、野球場1面、バレーボールコートが2面とれる体育館と平成16年7月に完成した相撲道場があります。

特にパークゴルフ場においては、東北地方のパークゴルフ愛好者を対象に毎年1月に開催される松川浦カップや7月に開催される野馬追いカップなど、年間を通して各種パークゴルフ大会を開催し、パークゴルフを通じてスポーツ交流と体力向上を推進しています。また相撲道場においては、平成16年から毎年夏に大相



パークゴルフ場



相撲道場

撲の玉ノ井部屋が合宿を行うことになりましたので、市内外から見学者が多く来場することが見込まれています。

この施設がある松川浦周辺には、数多くの宿泊施設(民宿など)がありますので、松川浦スポーツセンターでスポーツをした後にホテルや民宿でお風呂に入って汗を流して、おいしい海の幸の食事をとることができます。また、松川浦で釣りを楽しんだり、近くの観光イチゴ園(1月から5月まで開園)で新鮮なイチゴを食べたりすることもできます。

松川浦スポーツセンターは、スポーツ合宿地としても立地条件に恵まれていますので近隣の方はもとより遠方からのご来場を心からお待ちしております。



問い合わせ先
〒976-0025 相馬市岩子字坂脇84
TEL/FAX0244-36-4355

いわしるふれあいスポーツクラブ(岩代町)

【問い合わせ先】
岩代町公民館内
クラブハウス
Tel 0243-55-2261

子供から高齢者までの『多世代』が、『多目的』のスポーツ・レクリエーションを、身近な『地域』の中で楽しめるスポーツクラブを目指して設立し、3年目を迎えました。

いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも、生涯にわたって日常生活の中で気軽に楽しめます。

世代の異なる町民と一緒に、身近な地域コミュニティの中で活動できます。

歩く・走る・球技・ダンス・趣味の活動等、いろいろなサークルの多目的型です。

会員の多くは45歳代以上の中高年齢層であり、いままでにスポーツに親しむ機会が少なかった方々が、ウォーキング・軽登山・バドミントン・卓球・水中ウォーキングなどに参加しています。また、スポーツを通じて“親子のコミュニケーション”もはかられているように感じています。

当クラブは、スポーツ・レクリエーションによってみんなが笑顔で楽しめる環境づくりを進めています。



桜・桜・桜！満開！！『いわしる健康ウォーク』9歳～80歳まで幅広い年齢層の方が参加してくださいました。

活動内容

種目	曜日	時間
いわしるRC		9:30～11:00
百名山を登る会(月1回)	日	6:00～16:00
歩こう会		7:00～15:00
子供スポーツ		9:00～14:00
ゴルフ	月	18:00～21:00
よさこい		19:00～21:00
健康体操		19:00～21:00
バドミントン	水	19:00～21:00
卓球		19:00～21:00
いわしるRC		18:30～20:30
バスケットボール	木	19:00～21:00
ソフトバレーボール		19:00～21:00
ソフトエアロビック	金	19:00～21:00
水中ウォーキング		10:00～11:00
エンジョイキッズ(隔週)		10:00～11:30
サイクルクラブ(〃)	土	9:00～11:00
女子ソフトボール(〃)		19:00～21:30
写真サークル(月1回)		8:00～17:00

*活動時間は変更になる場合があります。

クラブの行事・イベント

内容	月日
いわしる健康ウォーク	4月18日
ボウリング大会	5月23日
日山ふれあい登山	6月6日
親子キャンプ	8月18・19日
フリーマーケット	9月11日
尾瀬散策ツアー	9月25・26日
ソフトバレーボール大会	10月24日
パークゴルフ&バーベキュー	11月13日
スキー・スノーボード教室	2月19日
体力測定会	3月2日



子供スポーツ『親子でサイクリング』

エンジョイキッズサークル



百名山を登る会『会津駒ヶ岳登山』

人気NO.1サークルです。月1回、県内の百名山に挑戦中。10月の甲子山(西郷村)で24回目の登山になります。

百名山を登る会は毎回天気に恵まれていましたが、会津駒ヶ岳登山(21回目)で初めて雨に降られてしまいました。ヤッケを着ている写真はこの写真1枚のみです。今後も天気を期待している皆さんです。

水中ウォーキング

足腰への負担が少なく、筋肉も効率よく鍛えられます。心肺機能を高め生活習慣病の予防にもなるといわれています。楽にたくさん運動できるので体にやさしいです。



ONE POINT

(財)福島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長
(社)日本医師会(財)日本体育協会公認スポーツドクター

本宿 尚 先生



「スポーツと健康」ワンポイント講座

～ウエイトコントロールの落とし穴～

ウエイトコントロールをする際、競技者でも一般人でも競技力や体力を落とさないことが大切になります。まずはこのことを頭に入れておきましょう。

体重を減少させるには体内の水分量を減らせば簡単に体重は落とせます。しかし、汗をかいたり水分の摂取量を減らして減量することは、効果はあるものの体脂肪量を減らすという減量本来の目的からは外れています。特に夏場では熱中症を引き起こす危険性があります。したがって、体脂肪を落とせるだけ落としただの上での最終手段として水分制限を用いる場合は仕方ありませんが、水分制限を用いる減量法はあまりお勧めできません。

水分減量に次ぐ方法としては食事制限があります。結果が出るまで時間はかかりますが、体重は必ず落ちます。しかし、ただ無闇に食事を減らせば体脂肪と同時に筋肉量も減らしてしまいます。このことからスポーツ選手では除脂肪体重を維持するか増やしながらか、体脂肪だけを減らすのが最も理想的なのです。トレーニングをしながら食事を少し減らしてエネルギーの収支バランスをマイナスにすることが大切です。

減量では体脂肪率や除脂肪体重を考えて、体重計だけを目安にはいけません。くれぐれも間違ったダイエットをしないように注意してください。

INFORMATION

"スポーツなんでも相談"

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好者や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。

下記の方法でお問い合わせください。

1 電話によるご相談
TEL 024-521-7896

2 FAXによるご相談
FAX 024-521-7971

3 メールによるご相談
E-mail info@sports-fukushima.or.jp



相談、
待ってるよ



http://www.sports-fukushima.or.jp
E-mail info@sports-fukushima.or.jp

～スポーツに関する情報を提供します～

スポーツニュース速報、競技スポーツ情報、生涯スポーツ情報、スポーツ少年団情報ほか県内のスポーツ情報を掲載。

お知らせ

県内のスポーツ少年団で、ホームページを開設している団があればメールにてご連絡ください。

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ (財)スポーツ安全協会福島県支部

☎024-526-4600

平成16年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

■法人・団体の部(加入順)

(株)東邦銀行	福島県商工会連合会	(株)クラロンスポーツ	福島県信用組合協会
福島県信用金庫協会	福島県信用保証協会	(有)ホンダ印刷	(有)吾妻印刷
(株)ホシ製作所	福島県旅館ホテル環境衛生同業組合	キング印刷(株)	東亜道路工業(株)福島営業所
福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)	合資会社「東館」	福島テレビ(株)
東信建設(株)	佐藤工業(株)	福島交通(株)	橋本フォーミング工業(株)福島工場
(株)東北装美	(株)環境分析研究所	(株)古瀧	(株)モリヨシ技研
花春酒造(株)	福島県ゴルフ連盟	(株)ウェディングエルティ	呉羽環境(株)
関場建設(株)	新田産業(株)	東北建設(株)	(株)ひらい
東開クレテック(株)	庄司建設工業(株)	富岡町体育協会	福島県中央商工振興協同組合
大和自動車交通(株)	原町港湾運送(株)	福島県建設業協会双葉支部	福島トヨタ自動車(株)
タニコー(株)	(株)福島中央テレビ	福島ネオ工業(株)	檜葉町体育協会
クリナップ(株)いわき事業所	東京電力(株)福島事務所	(株)アクト	東北電力(株)福島支店
山木工業(株)	(株)山川印刷所	(株)民報印刷	小名浜製錬(株)小名浜製錬所
呉羽化学工業(株)錦工場	福浜工業(株)	(株)加地和組	クレハ建設(株)
福島運送(株)	錦興業(株)	(株)福島テレビエンタープライズ	(株)渡辺組
(株)日進堂印刷所	堀江工業(株)	東急観光(株)福島支店	大塚製薬(株)郡山出張所
陽光社印刷(株)	名木製帽店	(株)松崎	(株)サンテックス
(株)海老名建設	(株)高橋建設	江花建設(株)	アサヒ通信(株)
福島ガス(株)	(株)ダイユーエイト	(株)ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)
福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)	タカラ印刷(株)	(株)タナカ情報ビジネス福島営業所
平和印刷所(株)	(有)エンドースクリーン	(株)NIPPO コーポレーション	福島支店
ふくしまスポーツネットワーク	北斗印刷(株)		

■個人の部(加入順)

片平 俊夫	下山田好宏	下山田恵一	北村 孝男	本宿 尚	結城 勝夫
佐藤 十次	富田 孝志	内藤 繁	斎藤 久男	吉田 政勝	林 幸夫
岩本 忠夫	青木 稔	佐藤 昌志	前田 長	五十嵐源一郎	矢内 哲郎
本田 俊教	花井 宣明	星 光一	内川 耕司	服部 啓吉	佐藤 真一
吉田 伸一	穂本 哲哉	宍戸 正幸	佐藤 讓敬	遠藤 均	上竹 毅
荒川 信郎	伊藤 隆司	西郷 徹夫	七宮 成夫	福本 隆	鈴木 義祐
福島県教育庁スポーツグループ職員一同		(財)福島県体育協会職員一同			

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、9年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間……入会后5年間
- 協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
- 加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (あづま総合体育館内)

福島市佐原字神事場1番地
http://www.u-kouiki.jp/USC/USCtop.html
E-mail utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-594-0015
FAX 024-594-0016

浜通り広域スポーツセンター (Jヴィレッジ内)

双葉郡楳葉町大字山田岡字美シ森8番地
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama@u-kouiki.jp

TEL 0240-26-0555
FAX 0240-26-0556

中通り広域スポーツセンター (たまかわ文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/NDSC/nakaSC.html
E-mail naka@u-kouiki.jp

TEL・FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター (会津若松市民ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/ASC/ASC.html
E-mail aizuu@u-kouiki.jp

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

全国から多くの参加者を迎え、「日本スポーツマスターズ2004 福島大会」が盛大に開催されました。中高年になっても、自分を培ってきた競技に挑戦する気持ちは変わりません。勝ち負けにこだわりながらも、一つ一つのプレイを楽しむように、相手を尊重しながら競技する姿が見られました。スポーツはするもの、見るもの、支えるもの。各団体、市町村、スポーツボランティアの方々の協力が、素晴らしいスポーツシーンを作り上げてくれました。この大会を契機に、本県スポーツがますます発展するよう努力してまいります。

※本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(情報提供事業)により作成したものです。